



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ウィン・パートナーズ株式会社
コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋沢 英海
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 村田 裕可

TEL 03-6895-1234

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,630	7.5	446	△11.8	449	△11.8	286	△58.3
26年3月期第1四半期	10,823	—	505	—	509	—	686	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 288百万円 (△58.5%) 26年3月期第1四半期 694百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.93	—
26年3月期第1四半期	47.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	24,781	11,062	44.6	770.68
26年3月期	26,934	11,233	41.7	782.58

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 11,062百万円 26年3月期 11,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	32.00	32.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,342	9.5	1,060	0.8	1,063	0.4	651	△36.2	45.41
通期	51,000	2.4	2,573	3.8	2,578	3.2	1,659	△9.9	115.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	15,251,655 株	26年3月期	15,251,655 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	897,433 株	26年3月期	897,433 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	14,354,222 株	26年3月期1Q	14,354,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表した「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した数値から変更しておりません。
2. 当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における医療業界は、政府の「社会保障と税の一体改革」のもとに行われた診療報酬の見直しや消費税増税の影響等により厳しい状況が続きました。

診療報酬は概ね2年に1回の頻度で見直しが行われており、直近では平成26年4月に実施されました。今回の見直しは医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等を主な目的としていることから、各医療機関においては、機能の明確化や、最適な医療の提供と堅実な医業経営を両立するための様々な検討が行われております。また、特定保険医療材料の償還価格の改定の影響を受け、当社グループの主力商品であるステントやPTCAバルーンカテーテル、ペースメーカ等の販売価格も下落しております。

当社グループは、このような環境及び顧客の変化に適切に対応するために、新しい医療技術や医療機器に関する情報の収集に積極的に取り組み、顧客のニーズに合わせた提案や支援を行うことで既存顧客の深耕と新規顧客の開拓を推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,630,671千円(前年同四半期比7.5%増)となりました。経常利益については、分類別の売上高構成比の変化に伴い売上総利益率が低下したことや、人員増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したこと等により449,344千円(同11.8%減)となりました。四半期純利益については286,146千円(同58.3%減)となりましたが、これは、前年同四半期に経営統合に伴う負ののれん発生益196,950千円及び段階取得に係る差益180,174千円を計上したことによるものです。

分類別の業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期より「その他」に分類していた商品について、商品特性等によって各分類への組み替えを行っております。このため、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期実績値を変更後の分類に組み替えて行っております。

・虚血性心疾患関連

薬剤溶出型ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル等の拡販に注力するとともに、PTCAバルーンカテーテルの一括買取により利益率の改善を図りました。販売数量は伸長したものの、償還価格改定に伴う販売単価の下落により、虚血性心疾患関連の売上高は4,999,327千円(前年同四半期比3.6%減)となりました。

・心臓律動管理関連

虚血性心疾患関連、心臓血管外科関連とともに注力分野と位置付け、社員教育を拡充しました。人員を増強し、特にEPアブレーション関連商品の啓蒙活動に注力しました。この結果、販売数量が大きく伸長し、心臓律動管理関連の売上高は2,307,467千円(前年同四半期比13.9%増)となりました。

・心臓血管外科関連

ステントグラフト内挿術関連商品が、症例数の増加によって販売数量が大きく伸長しました。また、平成25年10月から保険適用となった経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)の普及にも積極的に取り組みました。この結果、心臓血管外科関連の売上高は1,653,532千円(前年同四半期比21.1%増)となりました。

・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術の症例数が増加したこと等により販売数量が伸長しました。しかしながら、償還価格改定に伴う販売単価の下落により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は1,043,099千円(前年同四半期比0.5%減)となりました。

・大型医療機器関連

医療施設の新築・増改築の情報収集や、地域の市場分析を行い、市場動向に沿った適切な設備投資の提案を行ったことにより、画像診断装置等の販売が大幅に伸長しました。この結果、大型医療機器関連の売上高は765,667千円(前年同四半期比144.4%増)となりました。

・その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、糖尿病関連商品であるインスリンポンプのレンタルの普及が進みましたが、糖尿病関連商品以外の商品等の販売が減少したことから、その他の売上高は861,577千円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

(注)主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲治療」と呼ばれております。 ＜薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等＞
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 ＜ペースメーカ、植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等＞
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 ＜ステントグラフト、生体弁、人工血管、人工心肺等＞
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 ＜PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等＞
大型医療機器関連	放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 ＜X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等＞
その他	上記以外の医療機器等であります。 ＜インスリンポンプ、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等＞

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ2,152,621千円減少し、24,781,782千円となりました。これは、現金及び預金が1,564,242千円、受取手形及び売掛金が1,389,116千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,981,694千円減少し、13,719,330千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,011,829千円、未払法人税等が350,348千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ170,926千円減少し、11,062,451千円となりました。これは、四半期純利益により286,146千円増加した一方、前期の配当金の支払により459,335千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、顧客のニーズに合わせた提案や支援を行うことで新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力したほか、主力商品の一括買取による利益率の改善を図ったこと等により、概ね計画どおりに推移しました。

従いまして、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,563,824	6,999,582
受取手形及び売掛金	13,798,423	12,409,306
商品	1,124,223	1,486,170
その他	437,147	777,193
貸倒引当金	△640	△710
流動資産合計	23,922,978	21,671,544
固定資産		
有形固定資産	2,062,112	2,186,779
無形固定資産	308,231	301,519
投資その他の資産	641,080	621,938
固定資産合計	3,011,424	3,110,238
資産合計	26,934,403	24,781,782
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,276,288	12,264,459
未払法人税等	500,743	150,394
賞与引当金	209,411	97,988
その他	340,498	813,353
流動負債合計	15,326,941	13,326,195
固定負債		
退職給付に係る負債	373,032	392,609
その他	1,050	525
固定負債合計	374,082	393,134
負債合計	15,701,024	13,719,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,000	550,000
資本剰余金	2,272,369	2,272,369
利益剰余金	8,867,869	8,694,681
自己株式	△537,809	△537,809
株主資本合計	11,152,429	10,979,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,949	83,210
その他の包括利益累計額合計	80,949	83,210
純資産合計	11,233,378	11,062,451
負債純資産合計	26,934,403	24,781,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	10,823,157	11,630,671
売上原価	9,330,450	10,140,932
売上総利益	1,492,706	1,489,738
販売費及び一般管理費	986,805	1,043,492
営業利益	505,901	446,246
営業外収益		
受取利息	168	112
受取配当金	1,647	1,994
不動産賃貸料	912	488
その他	793	771
営業外収益合計	3,522	3,367
営業外費用		
支払利息	8	-
その他	242	268
営業外費用合計	250	268
経常利益	509,172	449,344
特別利益		
固定資産売却益	-	1,168
負ののれん発生益	196,950	-
段階取得に係る差益	180,174	-
特別利益合計	377,125	1,168
特別損失		
投資有価証券評価損	537	-
その他	5	112
特別損失合計	543	112
税金等調整前四半期純利益	885,754	450,400
法人税等	199,014	164,253
少数株主損益調整前四半期純利益	686,740	286,146
四半期純利益	686,740	286,146

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	686,740	286,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,735	2,261
その他の包括利益合計	7,735	2,261
四半期包括利益	694,476	288,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694,476	288,408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。